

本科 1 期 6 月度

解答

Z 会東大進学教室

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



8章 態

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 300 人がその会社に雇われている。
- (2) 公園の門は毎日夕方 5 時に閉まる。

■ 確認問題 2

解答

- (1) We were given that vase by her. / That vase was given us by her.
- (2) A chair was made for me by my grandfather.

■ 確認問題 3

解答

- (1) She has been made to return the money (by them).
- (2) The man was seen to hide a suspicious package under a seat in the bus.

■ 確認問題 4

解答

- (1) Strict teachers are often looked up to.
- (2) The stone walls were covered with about 50 cm of mud.

【1】

解答・解説

- (1) These television sets are made by a Japanese firm.
(これらのテレビは日本の会社によって作られている。)
- (2) My house is being watched (by them).
(私の家は見張られている。)
[進行形の受動態は be being + 過去分詞。]
- (3) This room hasn't been used for ages.
(この家は長い間使われていない。)
[現在完了形の受動態は have [has] been + 過去分詞。]
○ for ages 「長い間」
- (4) He was shown [showed] the easiest way to do it (by them).
The easiest way to do it was shown [showed] to him (by them).
(彼はそれをするための最も簡単な方法を教えられた。)
[S + V + I O + D O → S + V + D O + to + I O の受動態。]
- (5) A special meal was cooked for us for our wedding anniversary.
(私たちの結婚記念日のために特別な食事が料理された。)
[S + V + I O + D O → S + V + D O + for + I O の受動態。We were cooked a special meal for our wedding anniversary. は一般的に不可。]
- (6) The boys were made to climb the chimneys to clean them.
(少年たちは煙突掃除をするために煙突に登らされた。)
[S + V + O + 原形不定詞 (C) の受動態。]
○ make + O + C (原形不定詞) 「～に…させる」
- (7) The yacht was lost sight of in the fog (by us).
(我々は霧の中でそのヨットを見失った。)
○ lose sight of ～ 「～を見失う」
- (8) No attention was paid to what the nurse said by the patient.
What the nurse said was paid no attention to by the patient.
(患者は看護師が言ったことにまったく注意を払わなかった。)
○ pay attention to ～ 「～に注意を払う」
[「他動詞 + O + 前置詞」の動詞句の受動態。]
- (9) It is said that the house is haunted.
(その家は幽霊がよく出ると言われている。)
○ It is said that ～ 「～と言われている」 [It は that 以下を真主語とする形式主語。]
The house is said to be haunted.
○ S is said to do 「…するとされている」
○ haunted 「幽霊のよく出る」

- (10) It is said that the house was haunted.
The house is said to have been haunted. [完了不定詞]
(その家は幽霊がよく出たと言われている。)

【2】

解答・解説

- (1) of (その子供はその犬を恐れた。)
○ be scared of ～「～を恐れる」 cf. scare ～ (～を恐がらせる)
[← The dog scared the child.]
- (2) in (彼はその女の子にまったく興味がなかった。)
○ be interested in ～「～に興味がある」 cf. interest ～ (～に興味を起こさせる)
[← The girl did not interest him at all.]
○ not … at all「まったく…ない」[全否定]
- (3) with (彼はその大きなプレゼントに喜んだ。)
○ be pleased with ～「～に喜ぶ」 cf. please ～ (～を喜ばせる)
[← The big present pleased him.]
- (4) with (全部の家具がほこりで覆われていた。)
○ be covered with ～「～で覆われる」 cf. cover ～ (～を覆う)
[← Dust covered all the furniture.]
○ furniture「家具」[単数扱い]
- (5) with (その棚は本でいっぱいだった。)
○ be filled with ～「～で満たされる」 cf. fill ～ (～を満たす)
[← Books filled the shelf.]
- (6) in (私たちは帰宅途中にわか雨にあった。)
○ be caught in a shower「にわか雨にあう」
- (7) with (私たちはあなたの仕事に満足しています。)
○ be satisfied with ～「～に満足する」 cf. satisfy ～ (～を満足させる)
[← Your work satisfies us.]
- (8) to (彼女は彼と結婚して8年になる。)
○ be married to ～「～と結婚している」
- (9) to (彼の名は世界によく知られている。)
○ be known to ～「～に知られている」
- (10) by
○ be known by ～「～でわかる」

【3】

解答・解説

- (1) to have been (彼はその事件に巻き込まれたようだ。)
- (2) was believed to have (彼はその島を発見したと信じられていた。)[完了不定詞。(= It was believed that he had discovered the island.)]
- (3) had [got] ; hurt (私は事故で左足を負傷した。)
 - have [get] + O + C (過去分詞)「～を…される」
 - hurt ～「～をけがさせる, 傷つける」[現在形・過去形・過去分詞は同形。]
- (4) getting [having] ; repaired (ちょうど今カメラを修理してもらっている。)
 - get [have] + O + C (過去分詞)「～を…してもらう」
 - at the (very) moment「ちょうど今, 今のところ」

【4】

解答・解説

- (1)
 - (1) with ○ be filled with ～「～で満たされる」< fill ～「～を満たす」
 - (2) from ○ come from ～「～に由来する, ～から起こる」
 - (10) by ○ call ～ by …「～を…(の名)で呼ぶ」
- (2) くっつける ○ glue「①接着剤でつける ②ぴったりとくっつけて離さない」
- (3)「全訳」下線部(4), (5)参照。
- (4)
 - ◇ Here is a sentence made of words that have been in our language for more than one thousand years.
 - here is ～「ここに～がある」
 - made of … ← make ～ of …「…で～を作る」[of は製品になった時に材料の質が変わっていない時に用いる。前置詞が from の場合は製品になった時の材料の質が変化している時に用いる。]
- (5)
 - ◇ Some words are made up to name new things.
 - make up ～「①～を作る ②～を構成する ③～を補う ④～をでっちあげる」
- (4) (6) motion [moving] (7) useful
- (5) We sometimes give new names to old things that already have names.
- (6) not only ; but also
 - A as well as B = not only B but also A「BばかりでなくAも」[AとBの順序が逆になっていることに注意。]

全訳

我々の話す言語は言葉で満たされている。これらの言葉はどこから来たのだろうか。
 中には大変古い言葉もある。それらの中には love (愛) や truth (真実) のような言葉も含まれている。他には cat (猫) や house (家) のような日常の物を表す言葉もある。多くの古

い言葉は例えば and, when, to, at, with そして but のような文と文をくっつける言葉である。

(4) 千年以上もの間我々の言語の中にある言葉から成る 1 つの文がここにある。

The girl and her dog live in the woods. (その少女と彼女の犬は森に住んでいる。)

(5) 新しい物に名前をつけるために作られる言葉もある。あなたのおばあさんのお母さんは、若い頃に movie (映画) という言葉をまったく知らなかった。なぜなら映画は発明されていなかったからである。そして、おばあさんが少女だった頃には nylon (ナイロン) という言葉を知らなかった。なぜならこの大変有用な生地をまだ誰も作り出してはいなかったからである。

すでに名前がある古い物に新しい名前がつけられることも時々ある。そして両方の名前が使われる。このことによって言語はより豊かになるのである。例えば helicopter (ヘリコプター) は、今ではよく chopper と呼ばれる。

我々が別の民族から入って来たものを使い始める時、その物ばかりでなく名前も借用することがよくある。アメリカ先住民から squash (西洋かぼちゃ) を、イタリア人から spaghetti (スパゲッティー) を、メキシコ人から tacos (タコス) を、日本人から kimono (着物) を取り入れた時、我々はそれらを元々の名前で呼んだのである。

注

ℓ. 2 ◇ Among them are words like 'love' and 'truth'. [S (words like 'love' and 'truth') V (are) が倒置されている。]

◇ others = other words [Some words と相関している。]

○ some ～, others … 「～もあれば…もある」

ℓ. 12 ◇ This makes the language richer.

○ 作為動詞 (make) O C (形容詞) 「O を C にする」

ℓ. 17 ○ original 「①最初の、本来の ②独創的な ③原文の、元の」

添削課題

【1】

解答

アメリカの労働者は、週当たりのますます短い労働時間を要求し続けている。週4日労働の可能性が今真剣に考慮されつつある。

注

- continue to *do* 「…し続ける」
- 比較級 + and + 比較級 「ますます…」
- possibility 「あり得ること，可能性」 < possible
- be 動詞 + being + 過去分詞 「進行形の受動態」

【2】

解答・解説

(1) is (2) wanted (3) is (4) provided (5) are (6) paid

3箇所とも時制は現在時制である。主語が単数か複数かを考えて解答する。

9章 不定詞 1

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) 彼女の性格のその一面は、彼女の夫に向けられることは決してなかったようだ。
- (2) あなたに会えてよかった。
- (3) この映像を見る時、笑ったり歯を見せたり微笑んだりしないよう懸命に努力しなさい。
- (4) 今朝、ウィルソン氏は自分の車が修理されることを望んだ。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 重要なことは疑問を持ち続けることである。
- (2) 情報は自由であってほしい。

■ 確認問題 3

解答

- (1) そんなことを言うなんて、彼はどうかしているにちがいない。
- (2) その問題を解決するのは簡単だった。
- (3) プラスチックは投げ捨てられるには価値がありすぎる。

■ 確認問題 4

解答

- (1) attempt 「彼らは私を助けようとはしなかった。」
- (2) ability 「民主主義とは上司にノーと言えることである。」
- (3) failure 「ジャックが上手いかなかったのは、彼がさらに加わった複雑な事情を考慮しなかったからだ。」
- (4) freedom 「彼は彼女に何でも好きなことを自由にできる状況を与えている。」

■ 確認問題 5

解答

- (1) 実を言うと、私は転職を考えている。
- (2) そしてその時、さらに悪いことに、彼の両親が現れた。

■ 確認問題 6

解答

- (1) もしトップの座に居続けるつもりなら、彼のように懸命に練習をしなければならない。
- (2) すべての行動は、行動を行う人の意図によって判断されるべきだ。

■ 確認問題 7

解答

- (1) あなたのパソコンをチェックさせてください。
- (2) 彼女のふるまいは父親を怒らせた。
- (3) 私は座って子供たちがその公園で遊んでいるのを見ていた。

問題

【1】

解答・解説

- (1) be typed [不定詞の受け身は to be *done*。]
○ want ~ to be *done* 「～が…されることを望む」
○ at once 「直ちに, すぐに」
- (2) be studying [進行形の不定詞は to be …ing。]
- (3) clean [不定詞の意味上の目的語は主語であり, clean を変化させる必要はない。]
= It is easy to clean this room.
- (4) have lost [過去に財布をなくして, 今もその状態が続いているので, 完了形の不定詞 to have *done* を使う。]
○ be depressed 「意気消沈する, 憂鬱になる」
○ wallet 「財布」
- (5) have made [is believed 以前のことを表しているので, to 不定詞以下は to have *done* にする。]

【2】

解答・解説

- (1) it ; to
○ found it impossible to explain what I meant
V O (形式目的語) C O' [名詞用法 (意味上の目的語)]
- (2) it ; rule to
○ make it a rule to keep early hours
V O (形式目的語) C O' [名詞用法 (意味上の目的語)]
○ make it a rule to *do* 「…することになっている」
○ keep early hours 「早寝する, 早起きする; 早く仕事を始める [終える]」
- (3) for ; to ; in
○ look for ~ 「～を探す (= search for ~)」
○ a bigger house to live in = a bigger house in which to live [to live in は形容詞用法]
- (4) only to [副詞用法 (結果)]
- (5) as not to
○ so as to *do* 「…するために」 [副詞用法 (目的)] 否定語 not は不定詞の前に置く。
○ turn off ~ 「～ (ラジオ・テレビ) を消す」 (↔ turn on)

【3】

解答・解説

- 〔A 1〕「彼には一緒に遊ぶ人が誰もいないというのは本当ですか。」
〔Bウ〕「ぐずぐずしている時間はない。」〔形容詞用法〕
- 〔A 2〕「あなたにお会いできてうれしいです。」
〔Bエ〕「私たちはそのニュースを聞いてショックを受けた。」〔副詞用法（原因・理由）〕
- 〔A 3〕「彼女は決して嘘は言わないと約束した。」
〔Bカ〕「彼女は彼の質問に答えることを拒否した。」〔名詞用法（目的語）〕
- 〔A 4〕「そのような提案に賛成するなんてホワイト氏はばかだった。」
〔Bア〕「そのような間違いを犯すなんて彼はなんと不注意だったのだろう。」〔副詞用法（判断の根拠）〕
- 〔A 5〕「私たちは遊ぶためではなく、勉強するために学校へ行く。」
〔Bイ〕「彼は家族を養うために一生懸命働いた。」〔副詞用法（目的）〕
- 〔A 6〕「目が覚めたら床の上で横になっていた。」
〔Bオ〕「彼は家を出て行き、決して戻って来なかった。」〔副詞用法（結果）〕
- 〔A 7〕「彼が話すのを聞けば、彼を外国人だと思うだろう。」
〔Bク〕「静かにしていればうまくいくでしょう。」〔副詞用法（条件）〕
- 〔A 8〕「これらの果物は食べるのに大変よい。」
〔Bキ〕「彼は気難しい。」〔副詞用法（形容詞を修飾）〕

【4】

解答・解説

- (1) He has no site to build a new house on. [site（敷地、用地）を修飾する形容詞用法の不定詞。前置詞 on に注意。]
- (2) She must be lonely to live alone. [「原因・理由」を表す副詞用法の不定詞。]
- (3) The ship seems to have arrived on time.
○ seem to have *done* 「…したようだ」〔完了不定詞は述語動詞よりも前の時、または完了を表す。〕
○ on time 「定刻に」 *cf.* in time（間に合って）
- (4) He found it hard to make his ideas understood by his students.〔S V O Cの目的語（Oの部分）に to 不定詞を用いる時は、S V it C to *do* と形式目的語を用い、to 不定詞はCの後に置く。〕
○ make O *done* 「～を…される、～を…してもらう」

【5】

解答・解説

- (1) leave (あなたは直ちに出発すべきだ。)
 - had better *do* 「…すべきだ, …した方がよい」
- (2) ring (誰かが夜遅くベルを鳴らすのを聞いた。)
 - 〔知覚動詞 (hear) は目的格補語に原形不定詞をとる。〕
- (3) check (私は彼にその荷物を調べさせた。)
 - 〔使役動詞 (have) は目的格補語に原形不定詞をとる。ここでは目的語と補語の間に「彼が荷物を調べる」という能動の関係が成立することに注意。〕
- (4) to quit (彼の妻は彼に喫煙をやめさせた。)
 - 〔使役動詞 (get) は目的格補語に *to* 不定詞をとる。〕
- (5) not to spend (彼は私にあまり金を使わないよう忠告した。)
 - advise ~ (not) *to do* 「～に…するよう〔しないよう〕忠告する」
- (6) to have left (彼は数日前に家を出たと思われる。)
 - 〔完了不定詞 (述語動詞より前の時を表す。)]
 - (= It is thought that he left home a few days ago.)

【6】

解答・解説

- (1) to pass ○ be *to do* 「この場合は「意向」を表す。」
- (2) to [代不定詞 (= to stay here)]
- (3) would rather ○ would rather ~ than … 「…するくらいならむしろ～したい」
- (4) help laughing [but laugh] *to*
 - cannot help …ing = cannot but *do* 「…しないではいられない」
- (5) To make matters
 - to make matters worse 「さらに悪いことに」〔独立不定詞〕 (= what is [was] worse)
- (6) to ; nothing
 - to say nothing of ~ 「～は言うまでもなく」〔独立不定詞〕 (= not to speak of = not to mention)
- (7) so ; speak ○ so *to speak* 「言わば」〔独立不定詞〕
- (8) to say
 - not to say ~ 「～とは言わないまでも」〔独立不定詞〕 ~には形容詞がくることが多い。

【7】

解答・解説

- (1) the rain → for the rain (私たちは雨が止むのを待っていた。)
 - wait for ~ *to do* 「～が…するのを待つ」〔for the rain は不定詞の意味上の主語。〕

- (2) to go → go [going] (私たちは彼女が家から出る〔出て来る〕のを見た。)
 [知覚動詞 (see) は目的格補語に原形不定詞や現在分詞をとる。]
- (3) heard leave → heard to leave (アリスは部屋を出るのを聞かれたか。)
 [知覚動詞 (hear) の受動態では、目的格補語は to 不定詞になる。]
- (4) ○ (彼は彼女が荷物を運ぶのを手伝った。)
 [help の目的格補語は原形不定詞と to 不定詞の両方可能。]
- (5) had not better → had better not (あなたは今彼女に会わない方がよい。)
 [否定語 not は had better の直後につく。]

【8】

解答・解説

- (1) ウ [you've got an opportunity (1) to teach him の to teach は opportunity を修飾する形容詞用法の不定詞。]
- ア (あなたの子供はその道路を安全に渡れるはずだ。)
 ○ be able to do 「…することができる」
- イ (周りを見渡し、往来に耳を澄まして、安全に渡ることができることを確かめなさい。)[「目的」を表す副詞用法の不定詞]
- ウ (あなたの子供に安全な渡り方を教える際に、渡るのに往来の少ない道を見つけなければならない。)[roads を修飾する形容詞用法の不定詞]
- エ (最初にすることは、安全に渡れる場所を見つけることである。)[主格補語を導く名詞用法の不定詞]
- (2) ウ
- get (使役動詞) O to do 「Oに…させる」
- him = your child
- take you across the road 「あなたの手をつかんで道を渡る」
- (3) 「全訳」下線部(3)参照。
- ◇ have him cross on his own while you watch
- have O + 原形不定詞 「Oに…させる」
- on *one's* own 「自分一人で、独力で」
- while 「…する間」[接続詞]

全訳

子供と道路を横断する時はいつでも、子供に教える機会がある。まず第1に、安全に横断できる場所を探し出すことだ。それから、止まって、周りを見渡し、車が来るかどうか耳を澄ませるやり方を子供に示してやらねばならない。何もやって来ない時だけ横断するのだと教えなければならない。そして、子供が道路を渡っている間は、絶えず周りを見て、耳を澄ませないと子供に言わなければならない。この指図をしばしば繰り返す必要があり、そして親は自分が我慢しきれなくなっていることに気がつくかもしれない。我慢できなくなっていることに気がついた時はいつも、昨年、横断中に死亡あるいは重傷を負った子供が1万人いたことをじっくり考えてみてごらん下さい。1つの助言がある。子供に上に述べた点を教えたら、子供に自

分の手を引かせて道路を渡らせてみなさい。子供はそのやり方が気に入るだろう。安全に横断する方法を子供が分かったと思ったら、(3)親が見守るところで、1人で横断させなさい。これを車のほとんど来ない道路で、親も子供も2人とも満足するまでやっごらんない。

注

ℓ. 5 ○ instruction 「① 指図・命令 ② 教授・教育」

〔①の意味では通例複数形で用いられる。〕

ℓ. 6 ○ patience 「忍耐，忍耐力」

○ stop to think 「じっくり考える」

○ seriously injured 「重傷を負った」

【9】

解答

幸いなことに、その時彼は向かい側に座っている男と話すのに非常に忙しかったので、私を見つけたことができなかった。私は自分の客室にそっと戻り、自分の2つのスーツケースを棚からおろし、列車が止まったらすぐに降りる用意ができるように、通路の一番端までそれを持っていった。

注

○ luckily 「運よく，幸せにも」 < luck

○ at that moment 「その時」

○ much too ～ to do 「非常に～すぎて…できない」

○ busy …ing 「…するのに忙しい」

○ catch sight of ～ 「～を見つける」

○ so as to do 「…するために」〔「目的」を表す副詞用法の不定詞。〕

○ be ready to do 「…する準備ができている」

○ as soon as 「…するとすぐに」

【1】

解答・解説

- (1) I have never seen him get angry.
○ see ～ 原形不定詞 (C) 「～が…するのを見る」
- (2) I had him repair [fix] my camera.
○ have ～ 原形不定詞 (C) 「～ (人) に…させる, してもらう」
[= I had my camera repaired [fixed] by him.]
- (3) I got him to repair [fix] my camera.
別解 I got my camera repaired [fixed] by him.
○ get ～ to do 「～ (人) に…させる, してもらう」
○ get ～ done 「～ (物) を…してもらう, させる」
- (4) Let me tell you this before I go (out).
○ let ～ 原形不定詞 (C) 「～に…させる, …することを許す」
- (5) What made you think so?
○ make ～ 原形不定詞 (C) 「～に…させる」
- (6) (He is going) to come and help us (to) set up the computer.
○ help ～ 原形不定詞 (C) 「～が…するのを手助けする」

【2】

解答・解説

- (1) 彼女は来月結婚することになっている。
○ be to do [この場合は「予定」を表す。]
- (2) テレビを見る前に宿題をやらなければいけない。
○ be to do [この場合は「義務」を表す。]
- (3) 率直に言えば, 私はあなたの提案を受け入れることはできない。
○ to be frank with you 「率直に言えば」[独立不定詞]
- (4) 言うまでもなく, 私たちには使えるお金はあまりありません。
○ needless to say 「言うまでもなく, もちろん」
○ on a tight budget 「使える金が少ない」 cf. budget (予算, 生活費)
- (5) 本当のことを言うと, 私はサンディーの料理には我慢できないのです。
○ to tell (you) the truth 「実を言えば, 本当のことを言うと」
○ can't stand ～ 「～を我慢できない」

【3】

解答・解説

「全訳」参照。

〔最初の it は to study there を受ける形式主語であり，後ろの it は to get two jobs at the same time を受ける形式目的語である。〕

○ find it + 形容詞 + to do 「…するのは～だとわかる」

○ manage to do 「どうにか…する」

全訳

ディックは頭のよい少年だったが，両親が貧乏だったので，暇な時や休暇中は学費を払うために働かねばならなかった。こういう状況にもかかわらず，彼はなんとか大学に進むことができたが，大学で学ぶには非常にお金がかかったので，休暇中，彼は学費を払うのに充分なお金を稼ぐため，2つの仕事を同時にやるが必要だとわかった。

10 章 不定詞2

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) to be
- (2) you to have to be
- (3) me not to say
- (4) pretending to be [pretending that he was]
- (5) what he wants to do
- (6) me how to

■ 確認問題 2

解答

- (1) seems to know
- (2) him to be
- (3) for the rich to
- (4) of you to

問題

【1】

解答・解説

- (1) where to buy [疑問詞 + to 不定詞]
- (2) which book to [疑問詞 + to 不定詞]
- (3) like you to
○ would like ~ to do 「～に…していただきたい」[would like は want の丁寧な表現であり, ~ (you) が不定詞の意味上の主語になる。]
- (4) you not to
○ advise ~ (not) to do 「～に…するように [しないように] 忠告する」[~ (you) が不定詞の意味上の主語。]
- (5) to have been [完了不定詞 (述語動詞より前の時を表す。)]
(= It seems that she was poor when she was young.)
- (6) to have come [完了不定詞 (過去において実現されなかった行為を表す。)]
(= She wanted to come to our party but she couldn't.)

【2】

解答・解説

- (1) to begin (私はいつそれを始めたらいいのかわからない。)[疑問詞 + to 不定詞]
- (2) to go (彼女は大学に行くことを決心した。)
[不定詞の意味上の主語は文の主語 she に一致。]
- (3) him to be (私たちは彼は無罪だと信じている。)
[him は不定詞の意味上の主語。]
- (4) too ; for ; to (この仕事は難しすぎて、君にはできない。)
[副詞用法 (程度)。for you は不定詞の意味上の主語。]
- (5) it ; for you (あなたが彼の忠告を受け入れる必要はないと思う。)
[necessary は非人称形容詞なので for をとる。for you は不定詞の意味上の主語。]
- (6) It ; of you to (私に真実を話すなんてあなたは正直だ。)
[人物に対する話し手の主観的評価を述べているので、前置詞は of を用いる。of you は不定詞の意味上の主語。]
- (7) to have been (彼は若い頃は金持ちだったと言われている。)
[完了不定詞 (述語動詞より前の時を表す。)]

【3】

解答・解説

- (1) (1) 共通点は何もない ○ have ~ in common 「～を共通に持つ」
(5) 西洋の水準から見て ○ by [判断などの基準を示す。]
- (2) (2) the history (3) Japan (4) (his exact) place in society

- (3) ア [last 「最近の」]
イ [later 「(時間的に) もっと遅い」] ×
ウ [lately 「最近, 近頃 (副詞)」] ×
エ [latter 「後者の, 後半の」 ↔ former] ×

- (4) 「全訳」下線部(6)参照。

○ the Japanese seem to have kept many of their feudal attitudes [完了不定詞 (述語動詞より前の時, または完了を表す。)] (= it seems that the Japanese have kept ~)

全訳

日本について考察してみると、日本の歴史はアメリカやイギリスの歴史と共通点は何もないことがわかる。日本は清教主義のような類の宗教を持たなかった。明治維新まで日本は鎖国をしていた。したがって、日本に入国する外国人はほとんどなく、また日本を離れる日本人もほとんどいなかった。開拓精神は存在しなかった。日本の社会は封建的だった。各人が自分の正確な社会的地位を知っていて、それに疑問を持たないことが要求された。近代国家としての日本は、西洋の水準から見て、まだ未熟である。ここ 100 年の間に非常に大きな変化が起こったが、(6)日本人は彼らの封建的態度の多くを維持してきたように思われる。西洋社会のいくつかの面を考察すると、これらが何であるかを我々は理解できるかもしれないと思う。

注

- ℓ. 2 ○ anything like ~ 「いくらかでも [多少とも] ~ のような」
 ℓ. 3 ○ a closed country 「鎖国の状態にある国」
 ℓ. 6 ○ take place 「起こる, 行われる」

【1】

解答・解説

- (1) ア (この本は高すぎる。私にはそれを買う余裕がない。)
 ○ can afford to do 「(人が) …する (経済的・時間的・心理的) 余裕がある」
 [want, intend は目的語に不定詞をとるが, この場合は意味が不自然。]
 ○ avoid …ing 「…を避ける, …しないようにする」
- (2) ア (近いうちに必ず遊びに来てください。)
 ○ don't fail to do 「必ず…する」 cf. fail to do (…しない)
 [mind, stop は目的語に動名詞をとる。]
 ○ one of these days 「近日中に, そのうちに」
- (3) ア (彼はギターの弾き方を私に説明してくれた。)
 ○ explain ~ to 人, explain to 人 that ~ 「~を人に説明する」
 [to の省略は不可。]
- (4) ア (彼のお母さんは彼に, 言葉を選ぶ時はもっと注意するように忠告した。)
 ○ advise ~ to do 「~に…するように忠告する」
 ○ warn ~ to do 「~に…するよう警告する」
 [say, suggest は V + ~ + to do の型をとらない。]
- (5) イ (いろいろと苦労したが, 彼女はなんとか車を運転できるようになった。)
 ○ manage to do 「どうにか [なんとか] …する」
 ○ give up …ing 「…するのをやめる, あきらめる」
 ○ put off ~ 「~を延期する」 cf. put off …ing (…するのを延期する)
 ○ succeed in ~ 「~に成功する」 cf. succeed to ~ (～を相続する)

【2】

解答・解説

- (1) enough old → old enough (あなたは1人でそこへ行けるほどの年齢ではない。)
 [副詞の enough は修飾する形容詞・副詞の後に置く。]
- (2) put things → put things in (このセーターには物を入れるポケットがない。)
 [前置詞 in が必要。(不定詞の形容詞用法)]
 [no pocket to put things in = no pocket in which to put things]
- (3) expect him that he will pass → expect him to pass
別解 expect him that → expect that (私は彼が試験に合格すると思う。)
 [expect ~ to do または expect that ~ の型をとる。]
- (4) You are difficult → It is difficult for you (あなたがこの問題を解くのは難しい。)
 [difficult は非人称形容詞なので, 人を主語にとることはできない。It is difficult for 人 to do の型をとる。]

【3】

解答

- (1)人生はあなたにとって無限の可能性に満ちた長い旅であるように思われるかもしれない。
- (2)しかし、もしあなたが読書が好きなら、あなたはまもなく、人生は読んでみたいと思う本の半分を読むのにさえ短すぎるのがわかるだろう。



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--